

管理所レビュー VOL.04

(R1.5.27 水源林管理所)

今年度の第4回となるボランティア活動が、5月18日(土)に予定どおり実施されました。

午前中は、時折小雨がぱらつく肌寒い天気でしたが、午後からは天気も回復し、安全に間伐作業を実施することが出来ました。皆様、大変お疲れ様でした。

ここ数日は道志村でも真夏のような暑さですが、天気予報によると、次の活動日には小雨が降り、最高気温も20度程度まで下がるようです。体調を崩さぬよう、体温調節を出来る服装の準備をしてご参加ください。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

1 69名のご参加、ありがとうございます！



十分に体を伸ばしましょう。



動力班も安全対策！

2 退避区域、危険区域の確認を！

立木の長さ(樹高)は、立った状態では分かりにくいものです。特に、伸びのある立木の長さは分かりにくく、倒してその長さに驚くという、そんな経験のある方も多いと思います。

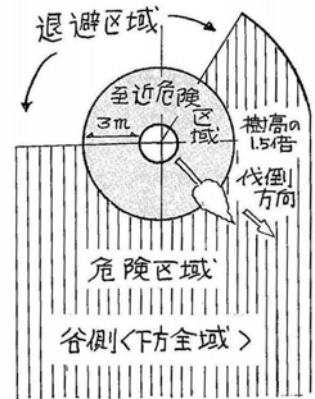
「伐木造材作業者必携」では、立木を伐倒する時の危険区域を立木の樹高の1.5倍の距離の範囲及び谷側(下方全域)としています。

伐倒前には、当該立木の伐倒に関する作業者の退避区域への移動に加え、隣接する班が危険区域周辺にいる場合は、注意喚起をしてください。

なお、ロープ引き開始の合図(“ピーー”と長く一度だけ)は必ず行なってください。

※ 表記の図は、伐倒方向が斜め下の場合の退避区域及び危険区域を示しています。

「伐木造材作業者必携より一部抜粋」



3 補助ロープを上手に使いましょう！

この季節の樹木は水を吸い上げているため、かなりの重量があります。当然、伐倒に際しては注意が必要ですが、伐倒後の玉切り作業や運搬時にも注意が必要です。

重量のある材の安全な運搬や玉切り作業時のノコギリの挟まれ防止に、補助ロープを上手に使いましょう！



補助ロープを使っての運搬。



重量のある材の運搬は、協力して。

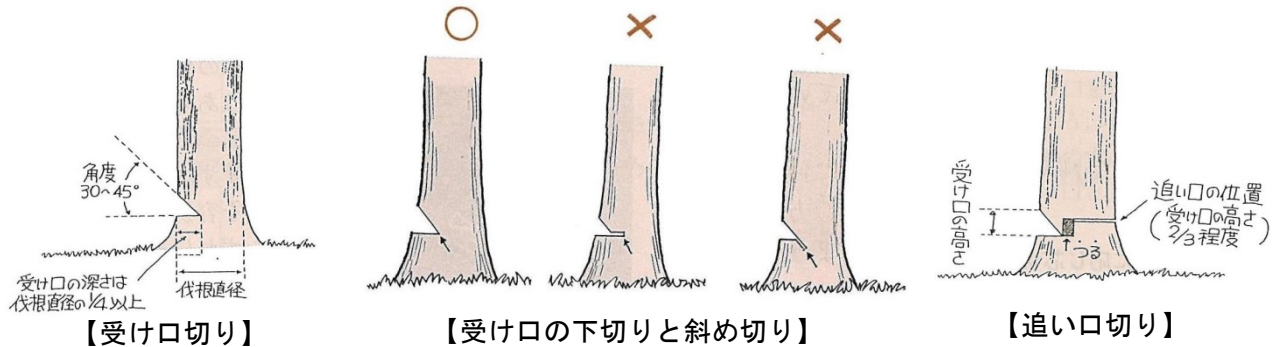
4 再確認！受け口切りと追い口切り。

●受け口切り

- (1) 受け口の下切りは水平に切り込み、深さは、根張りを除いた伐根直径の1/4以上としてください。ただし、大径木は、根張りを除いた伐根直径の1/3以上としてください。
- (2) 受け口が浅く、小さいとわずかな接触や強風で目標の伐倒方向からずれる場合があります。特に大径木の受け口切りは、斜め切りの角度が小さくなりがちです。大変ではありますが、やや大きめの受け口を作ることを意識し、必要があれば切り直しをしてください。
- (3) 受け口の斜め切りは、下切りに対して30～45度としてください。
- (4) 受け口の下切りと斜め切りは、終わりの部分を必ず一致させてください。

●追い口切り

追い口切りは、受け口の高さの下から2/3程度の位置を水平に切り込んでください。



「伐木造材作業者必携より一部抜粋」

※ 正確な受け口切りと追い口切りは、目標とする伐倒方向に倒すための重要な作業です。

受け口切りと追い口切りを安易に進めると、予想外の方向へ倒れる場合があります、大変危険です。切り始めの確認はもちろんのこと、切り込みの途中にも何度か確認を行い、確実な受け口と追い口を作り、目標の伐倒方向に正確に倒すようにしてください。

5 ご参加、ありがとうございます。

今回の活動に、環境保全活動に積極的に取り組んでいる宮本土木株式会社様、株式会社ハイマックス様が参加されました。ご参加、ありがとうございました。

横浜の水源である道志村の民有林をより良い水源林とするこの道志水源林ボランティア活動が、様々な方面の方の参加により、ますます広がることを期待します。

ボランティアの会の皆さん、親切、丁寧なご指導ありがとうございました。



宮本土木株式会社様。
(掲載許可済み)



株式会社ハイマックス様。
(掲載許可済み)

※ 5月29日(水)は、雨時々曇り、最高気温20度、降水確率70%の予報となっています。

★それでは5月29日、気をつけてお越しください。